

令和6年度 第1回大津町立図書館協議会 会議録

開催日時	令和6年6月28日(金) 午後3時～午後5時30分	
開催場所	おおづ図書館 集会室	
	出席委員	江口竜一(会長) 吉田ひとみ(副会長) 坂本俊明 河北恵理 大野一郎 宮野 薫 古庄裕樹 松岡征一郎 守田丈晴 桑原正浩
	欠席委員	無し
	職務出席者 及び説明者	吉良智恵美 教育長 羽熊 幸治 教育部長 佐藤 純一 教育部 生涯学習課長 矢野 好一 教育部 生涯学習課 課長補佐 図書館 館長 古澤 理恵 教育部 生涯学習課 図書館 副館長 前方 優奈 教育部 生涯学習課 図書館 主事
開催形態	傍聴者 無し	
議題	<ol style="list-style-type: none"> 1 開 会 2 委嘱状交付 3 教育長あいさつ 4 会長あいさつ 5 議 題 <ol style="list-style-type: none"> (1)【報告】令和5年度の利用状況及び事業報告について (2)【報告】令和6年度の運営方針、事業計画について (3)【協議】これからの公共図書館の在り方について <ol style="list-style-type: none"> ①館内への飲み物の持ち込みについて(継続協議) ②公共図書館における漫画の収蔵について(継続協議) ③公共図書館の読書活動推進の取り組みについて ～現状と課題を踏まえて～(新規協議) (4)その他 6 その他 7 閉 会 	

議事の概要及び議題または案件に対する意見等の記録

館長	1 開 会
教育長	2 委嘱状交付
江口会長	3 教育長あいさつ
江口会長	4 会長あいさつ
(説明者)	5 議 題 (1)【報告】令和5年度の利用状況及び事業報告について
委 員	大津町民の利用状況について、興味があるのが、海外の方の利用状況が知りたい。英語以外の言語の本はあるのか。
事務局	利用があっているか調査してみます。 英語以外の本も所蔵しています。ご家族で利用いただいている場合もあります。
委員	令和 5 年度はイベントにもいろいろ参加し、今までになかった企画もありとても楽しかった。引き続き行ってほしい。能登半島沖地震の募金もすぐに図書館でも取り組んでいただき、安心して募金できた。
事務局	役場総務課と連携し、実施しました。図書館では 7 万円以上のご協力をいただきました。募金だけでなく、能登半島や石川県のことを知ってもらう、防災関係の啓発展示も行いました。
委員 (説明者)	(2)【報告】令和6年度の運営方針、事業計画について 資料に基づいて説明
委員	いろいろな団体と図書館との意見交換会などをやっていただければ、図書館からまちづくりの一端を担う意識とか自信につながるのではないか。
事務局	ぜひ前向きに考えていきたいと思います。
委員	本年度の予算で、備品購入費の図書資料約 4700 冊とは本のことか。昨年度はどれくらいの実績があったか。
事務局	予算は本の購入費です。昨年度の購入冊数の実績は、4931 冊です。
委員	正面展示コーナーの「つつじ祭り アーカイブ展」は、過去の開催状況がわかり

事務局	とても良かった。今後も図書館にある資料を展示する企画をお願いしたい。郷土資料についても今後は、保存するだけでなく、いかに町民の方に還元するかという考え方で、工夫して行ってまいりたいと思います。
委員	図書館ホームページは昨年12月にリニューアルしてアクセス数は増えたか。また、4月から始まったLINE連携の利用状況はどうか。
事務局	アクセス数については調べてみます。LINE連携については、現在230人ほどの登録をいただいています。
委員	中学校でボードゲームを行たらすごく楽しんでもらった。また、ビブリオバトルにも取り組んでいる。中高生はなかなか忙しいが、参加したい生徒もいるので、図書館でもまた行っていただければと思う。
事務局	以前は開催していましたが、コロナ明けの現在、まだそこまでには至っていない状況です。開催については考慮したいと思います。
(説明者)	(3)【協議】 これからの公共図書館の在り方について ①館内への飲み物の持ち込みについて(継続協議) 資料に基づき説明。県内公共図書館の状況を報告
委員	蓋付きとはどういうものか。開けてそのままの缶はだめか。弁償できる本とできない本もあるがどうするのか。
事務局	蓋を閉めておけば倒れてもこぼれないものという考え方です。汚損の場合は、現在の汚損弁償の基準に照らして対応します。
委員	(条件付きで飲み物の持ち込みを)許可する方向は同意する。周知徹底のために子どもでも分かるような大きなイラストで周知を徹底してほしい。
事務局	わかりやすい案内を用意します。
委員	テーブルへの結露についてはどうするのか。歩きながら飲む人にはどうするのか。
事務局	必要であればウエスを置きます。飲み歩きを見かけた場合は注意します。
(説明者)	②公共図書館における漫画の収蔵について(継続協議) 事務局案の漫画資料収集方針と収集基準について説明
委員	提案の評価票は、作品を読み込まないと点数がつけられないのではないか。時間を要するのではないか。
委員	審査が3名で行い、うち一人が館長だと最終的に館長の意見に偏るのではな

	<p>いか。また、1,000 冊というのは相当な数で一般図書の購入費に食い込むのではないか。</p>
委員	<p>前回の協議の流れでは、漫画を入れることについては検討事項としても進めてよい、との判断だったかと思う。海外の人には日本と漫画は文化として密着して知られている。</p>
事務局	<p>先に入れている図書館があるとのことなので、種類については、その事例を参考にすればそこまで難しいことではないのではないかと。スペースの問題も修正しながら取り組んでいけばよいと思う。</p>
事務局	<p>ご意見ありがとうございました。評価項目については厳しすぎるのではないかとのご意見でしたので、子どもたちに夢や希望を与える作品という基準で、もう少し緩やかになるように検討して、またご提案したいと思います。</p>
(説明者)	<p>③公共図書館の読書活動推進の取り組みについて ～現状と課題を踏まえて～(新規協議) 資料に基づき読書活動の現状を説明</p>
委員	<p>ここに紹介されている取り組みは、大津町もほとんどの行っているのではないかと。</p>
委員	<p>大津町の人だけが利用するわけではないので、来館者が口コミで広げるか、図書館から広報して関心を持ってもらうか… 強制的にはできないので今やっていることを少しずつ充実していきながら、見直しも行い進めたらどうか。あまり決め込んでやるものではないと思う。</p>
委員	<p>小学生を見ていると、昔は読書は遊びのひとつでしたが、今は敷居が高くなっているように思う。読むのに苦勞する。何か大津町の資源を活かしながら、子どもたちに読書の楽しみを与えなければならないと思っている。</p> <p>例えば、本好きな子どもが開く図書館、フリーマーケットのような、自分が選んだ本が並んでいる、そして、そのブースがいくつかできると人が集まるみたいな。つつじ祭りとかのイベントでそのようなブースを設けてお互いに本の面白さを伝え合うと、面白い企画になるのではないかと。</p> <p>学校や図書館が一方向的に情報を流すのではなく、若くて本を読んでいる人たちが図書館のコンテンツを利用して地域に発信するような方法をとっていくと、違った角度で本を読む子どもたちを掘り起こせるのではないだろうか。</p>
事務局	<p>いろいろなご意見ありがとうございました。図書館の運営の参考とさせていただきます。</p>
(説明者)	<p>(4)その他 ○おおづ図書館への意見や要望について説明 20 件の案件を説明</p>

6 その他
特になし

7 閉会
(閉会時間:午後5時 30分)